

性講話「いのちの授業」

講師：「生」教育助産師グループ OHANA

5月30日（火）5・6限、全校生徒を対象に性講話を実施しました。

今年度の性講話は、「生」教育グループ OHANA のみなさんに、助産師の視点で命の大切さ、自分や相手を尊重することを伝えていただきました。



性講話を通して、生徒一人一人が自分の性や相手の性、これからの生き方について考えるよい機会となりました。自分自身の性や異性に関する興味や関心が高まる思春期に、専門家からお話を聴くことは生徒たちにとって大変貴重な機会となりました。

～生徒の感想文より～



< 男子 >

- ・相手のことを尊重して行動していくことが大切だと思った。
- ・恋と愛は全く違って、恋は相手に求めるものが強いこと、愛は相手の事を理解して互いに理解し合うことだと分かった。
- ・人それぞれ成長や性に対する気持ちの変化が違うので、友達や周りの人の事も理解したい。
- ・性感染症は、様々な症状があることが分かった。性感染症には気を付けたい。
- ・女性が子どもを産むときの大変さや苦しさを知ることが出来てよかった。
- ・出産の映像を見て、新しい命が誕生する感動を実感することができた。
- ・自分が生まれる確率は700兆分の1だと知ってとても驚いた。
- ・親に心から喜ばれて生まれてきた命なので、親に感謝し、自分や他人の命を大切に生きていきたい。

< 女子 >

- ・命が誕生するという事はとても神秘的なことであり、私たちが生まれたたことも奇跡であると知り、命のありがたみや今生きている事の喜びを感じることができた。
- ・今日、家に帰ったら自分が生まれた時のことを聞いてみようと思った。
- ・助産師は産むのを手伝うだけでなく、女性の一生に関わっていることが分かった。
- ・今まで育ててくれた両親の苦勞が分かった。感謝の気持ちを忘れずに生きていきたい。
- ・自分を命がけで産んでくれた母に感謝したいと思った。
- ・望まない妊娠をしている人が想像以上に多いことに驚いた。
- ・骨盤を通して赤ちゃんが出てくるところを、模型を使って説明してもらえてよく分かった。
- ・自分が責任を持ち、生まれてきた子どもをきちんと育てられるようになるまでは、必ず避妊をしたい。